

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和元年度)

調査表

施設名	県立青島亜熱帯植物園・宮崎県総合運動公園
指定管理者	一般財団法人みやざき公園協会
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日(3年間)
県所管部課	県土整備部 都市計画課 美しい宮崎づくり推進室

1 施設利用状況

指標	R1	H30	H29	増減理由等
青島亜熱帯植物園 (単位:人)	324,293	305,464	360,737	青島亜熱帯植物園は、平成31年3月に完成した西門整備の効果もあり利用者が増加したと考えられる。県総合運動公園は、新型コロナウイルス感染症対策で有料公園施設閉鎖を行ったことにより減少したと考えられる。
運動公園内施設利用者 (単位:人)	1,219,602	1,330,358	1,399,660	
コメント	運動公園内の日本庭園やバラ園はホームページで旬な情報発信により婚礼前撮りなどで利用者が増加傾向にある。植物園は季節ごとのフラワーショーや展示会などのイベントを行い魅力の向上に努めている。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R1	H30	H29	支出	R1	H30	H29
指定管理料	138,646	136,331	115,131	人件費	65,447	58,914	45,880
自主事業等	12,691	12,889	12,485	需要費・役務費	26,787	26,803	28,510
				委託料・使用料等	29,482	29,514	18,525
				経費	17,799	16,883	18,573
				自主事業支出	17,209	17,752	17,527
合計(①)	151,336	149,220	127,616	合計(②)	156,724	149,866	129,015
収支差額(①-②)	-5,388	-646	-1,399				
コメント	共有資材の活用や必要な消耗品は一括購入するなどして費用の縮減を図り、保有する大型機械により効果的・効率的な維持管理を行っている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和元年度に新たに組み込んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	園内清掃、トイレ清掃、噴水清掃、照明器具清掃
	保守・点検	浄化槽点検(月1回)、遊具専門点検(年2回)、遊具定期点検(年12回)、園内施設安全点検(連休前・夏期休暇前・年末年始前)、照明点検(月1回)
	警備	通常パトロール、夜間巡視(月2回)
	修繕	四阿、水道蛇口、案内板、側溝、グレーチング等の整備補修
	備品等管理	県貸与備品(原動機付自転車)の適正利用・管理
	安全対策	労働災害防止対策会議(年12回)、運動公園全体自衛消防訓練参加(年2回)、植物園自衛消防訓練実施(年1回)、普通救命講習受講
その他	植栽管理業務(樹木・芝・花壇等)、動物飼育業務(鯉)、施設維持管理業務(園路・遊具・トイレ他)	
企画運営業務	サービス提供体制整備	利用者アンケート調査、レンタサイクルの実施、カフェ設置、公園管理運営マニュアル勉強会、職員接遇研修等
	イベント等ソフト面充実	日向日景修園お茶会、自然観察会、花の無料配布、犬のマナー教室、トロピカルフルーツフェア、ブーゲンコレクション2019、バラの管理講習会、春のフラワーショー、HP作成・更新、SNSの活用、情報の多言語化等
	施設設備等ハード面充実	植物園案内板の改正、案内板・誘導サインの強化及び多言語化、筆談ボードの設置、貸出用車いす、ベビーベッド・ベビースタック設置、枯損枝の除去等
	その他	「青島再勢プロジェクトメンバー」、地元地区活動への参加、自主事業時のアンケート調査、公園ボランティア(「バラクラブ」(総合運動公園)、「ガーデニングクラブ」(青島亜熱帯植物園))との協働等
管理運営体制	職員技能研修、個人情報保護教育、先進地視察、公園管理運営士等の資格取得、管理運営委員会等	
コメント	日々のパトロールや適切な人員配置を行うことにより利用者の安全確保に努めている。また、トイレは常に快適に利用してもらうため毎日の清掃に追加し利用者が多いときは回数を増やし、花を一輪飾るなどささやかなおもてなしも行っていった。全面的に施設の管理運営は適切に行われている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査等	
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等	
(運動公園) 中学体育大会のテニス競技で熱中症により緊急搬送され、温度上昇を防ぐ対策を求められた。	テニスコート周辺の繁茂した樹木を剪定し、風通しを良くすることで温度上昇を抑えた。	
(植物園) 温室内の見頃の花や果樹の情報提供に関する要望。	大温室及び果樹温室内に花の見ごろ情報板を設置し、時期に合わせて随時更新した。	

5 総合評価

評価コメント	公園管理運営に必要な教育を幅広く実施し、必要な資格取得・講習を受講している。また、施設・設備類の保守点検は徹底して取り組んでいる。植物園では姉妹植物園(シンガポール植物園)との交流及び情報共有なども行っており植物園の魅力の向上に努めている。
今後の課題と対応	運動公園においては、引き続き競技大会やキャンプ等の大規模イベントを踏まえた維持管理や津波に係る防災対策の充実を行っていく。植物園においては、他施設との連携や利用者増加のためにSNSなどを活用した魅力のPRなど、より一層の工夫が求められる。